

ゆたかな食を 次の世代に継ぐ

西会津町の基幹産業のひとつ、農業。
人口減少・担い手不足といった地域課題が山積する中、
米・ミネラル栽培野菜・菌床キノコを3本の柱に据え
生産振興や販売促進、担い手確保など、多角的な取り
組みを展開しています。

おいしくて、環境にやさしい、西会津町の農業

日本トップクラスの西会津米



お米に含まれる成分を測定し、おいしさを数値化する「食味値」。一般的に80点以上が「良食味」とされ、数値が高いほど粘りやツヤがあり、評価されます。西会津米は例年、平均食味値80点以上をキープ。グルメ著名人もお墨付きのおいしさです。

健康な土づくり事業



「健康な食は健康な土から」の理念のもと、平成10年から続く西会津町の「健康な土づくり事業」。土壌診断に基づきミネラル成分を補い、土のバランスを整えることで、味の濃い高品質な「ミネラル栽培野菜」を栽培しています。道の駅にしあいで販売中。

菌床シイタケ・キクラゲ



西会津産の椎茸・きくらげは、大ぶりで肉厚、プリプリとした食感が特長。菌床づくりから生産まで、一貫して手がけている安全・安心なきのこです。会津管内で乾燥きくらげ生産量No.1の農家もいます。

さすけねえとは会津で「大丈夫」を意味する方言

人生100年時代を 自分らしく生きる 『さすけねえ輪』の 健康づくり



さすけねえ輪で変える！
高齢化率50%の町
健康共創プロジェクト

“3つの健康”を育むまちづくり

西会津町では平成5年から「百歳への挑戦」をスローガンに掲げ、町一体となって健康づくりに取り組んできました。現在は、「さすけねえ輪で変える!高齢化率50%の町健康共創プロジェクト」を推進し、単なる長生きではなく、住民同士が支え合いながら、人生100年時代を自分らしく暮らせる町を目指しています。長野県を全国トップの健康長寿に導いた、諏訪中央病院名誉院長・作家の鎌田實先生の指導のもと、「からだ」「こころ」「つながり」の3つの健康を柱に据えた「さすけねえ輪」の健康づくりを展開。その成果は「平均自立期間」の延伸にも着実に表れ、さらに県内初となる「健康寿命をのばそう!アワード」で最高賞(厚生労働大臣 最優秀賞)を受賞するなど、取り組みは高く評価されています。



第14回健康寿命をのばそう!アワード
生活習慣病予防分野
厚生労働大臣 最優秀賞受賞

西会津米コシヒカリ食味値分布

開催年(出品数)	平均食味値	90以上	89~85	84~80	79以下
令和7年度(60品)	83	0品(0.0%)	24品(40.0%)	31品(51.7%)	5品(8.3%)
令和6年度(85品)	81	0品(0.0%)	15品(17.7%)	50品(58.8%)	20品(23.5%)
令和5年度(96品)	82	0品(0.0%)	23品(24.0%)	53品(55.2%)	20品(20.8%)
令和4年度(110品)	83	1品(0.9%)	28品(25.5%)	69品(62.7%)	12品(10.9%)
令和3年度(106品)	83	1品(0.9%)	31品(29.3%)	60品(56.6%)	14品(13.2%)

年齢別農家人口

15歳~29歳 \ 79人

30歳~59歳 \ 304人

60歳以上 \ 974人

令和2年度 世界農林業センサス
※個人経営体における年齢別世帯員数

高品質な農作物を安定して栽培する、西会津町の農家。経済性だけでなく、自然環境や食べる人の健康に配慮した栽培を心がけています。



西会津町就農
ガイドブック

生産者の声

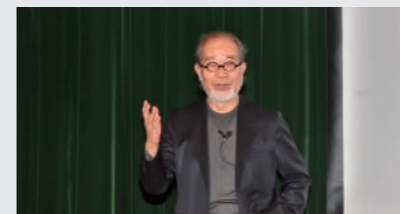


会津きのこ工房 根本大輔さん

プログラマーをやめて、シイタケ農家に。 新しい生き方、働き方を、この町で。

東京でプログラマーとして働いていましたが、働き方を見つめなおし農業の道へ。親戚がいる西会津町で菌床シイタケ栽培を学び、現在は独立して経営しています。未経験で農業をスタートし、自然相手の仕事は思い通りにならないことも多いですが、その分やりがいも大きく、お客様から「おいしい」と言ってもらえた時は苦労を超える喜びがあります。広々として土地でじっくり農業に向き合える今の環境は、私にとってはいい暮らし方・働き方です。

健康づくり特別講演会



鎌田實先生を講師に招き、2024年に特別講演会を実施。会場には300人を超える町民が集まり、鎌田先生の健康法や健康に対する考え方などを聞きながら、人生100年時代を生きるため、健康づくりに対する意識を高めました。

ワイワイかたろう会



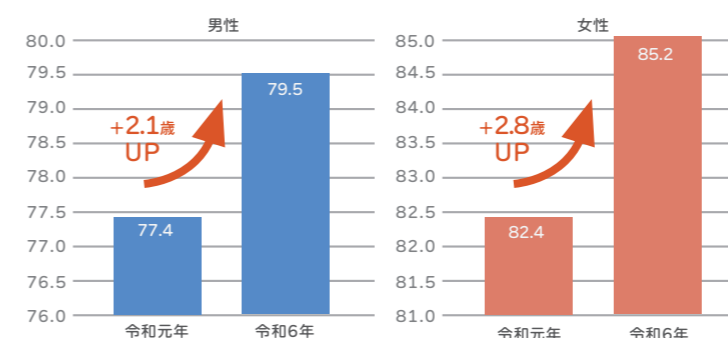
鎌田實先生が元所長を務めた「一般社団法人地域包括ケア研究所」の現所長・奥知久先生と、集落に住む高齢者の皆さんが健康づくり座談会「ワイワイかたろう会」を実施。住民主体のイベントであるのが特徴です。

町民主体で健康づくりを推進



町が実施する「さすけねえ輪の健康づくり」を、町民主体で普及・啓発する取り組みを推進しています。例えば、町の健康増進計画を検討策定する委員会や、町内事業者による食育応援団。子どもへの食育の機会も広く展開しています。

平均自立期間の延伸 令和元年度と5年後の令和6年度の比較



出典：健康増進課調べ
※平均自立期間とは：健康寿命の指標の一つ。日常生活動作が自立している(要介護2未満)平均期間を示したものです。

西会津町のWell-being指標

地域とのつながり

主観的データ
偏差値 **80.0**

健康状態

主観的データ
偏差値 **77.3**

出典：2025年 デジタル庁Well-beingダッシュボード
※Well-being指標とは：主観データ(町民アンケート)の結果と客観データ(健康診断受診等のオープンデータ)を用いて、地域の幸福度や満足度の偏差値を数値化したもの。